

技術研修会が開催されました



研修会が行われた



設楽幹事長

設楽幹事長は「これまでの公共投資で私たちの暮らしは安全安心なもの

全国特定法面保護協会 関東地方支部群馬県支部 (設楽雅之幹事長) は 1月27日、前橋市内の建設会館で法面工事技術研修会を開催した。研修には約100人が参加し、法面工事に必要な施工管理の技術や安全管理の重要性を学んだ。

全国各地で大規模な地震が発生し、防災減災の難しさが改めて浮き彫りになった。この時代、われわれに求められているのは、日常の仕事や生活の中で法面の変調や落石の可能性をチェックし、災害発生を未然に防ぐことと呼び掛けた。

研修会は、2部に分かれて行われた。第1部では県契約検査課の加藤武主任工事専門検査員が「法面工事の

協会 法面保護協会 群馬支部

100人が技術力強化

法面工事技術研修会開く

「施工管理について」、同課の久保健一補佐が「工事現場の安全管理について」の演題でそれぞれ講演を行った。

第2部では、会員企業から工事現場体験発表会や夏季と年末に行われた安全パトロールの報告会などが行われ、会員同士で情報の共有を図った。



1月27日に開催された「法面技術研修会」の様子が新聞に掲載されました。

弊社も工事現場体験発表会で「ソイルサンプラー工法」についての発表をさせていただきました。

今回も内容の濃い研修会になりました。